

# 「広島県建設分野の革新技术活用制度」登録技術の活用事例

技術名称：デジタル重量計「トラ・スケ」

登録事業者：アイウイングス株式会社

様式2

## ① 設計・施工等の概要

項目	概要
年度	令和4年度
発注機関	広島県
事業名	一級河川 太田川水系 猿猴川高潮対策工事 (仁保4-1工区)
対象地	広島県広島市南区仁保
工期	令和4年3月16日～令和4年12月15日
数量	護岸工L=240m 仮設工(盛土撤去)V=3,100m <sup>3</sup>

## ② 活用に至った現場条件や経緯

- ・ 中詰め盛土撤去（掘削～運搬でV=3,100m<sup>3</sup>）を短期間で完了させる必要があった。
- ・ 盛土撤去は、河川内で干満作業の影響もあり、短期でスムーズな施工を行う必要があった。
- ・ 場内に仮置きする場所も限られているので、場外に搬出しなければならない。
- ・ 河川内での土砂であるため、含水比が高く比重が一定せず、毎日測定しなければ、過積載が把握できない。
- ・ DID地区での建設発生土運搬であり、より安全に走行するため、運行管理する必要があった。

## ③ 活用効果（本事例における定量的・定性的な効果）

### 定量的な効果

- ・ デジタル重量計を常時つけているため、積込み後すぐに同じ場所で確認できる。
- ・ トラックスケールは測定場所まで誘導し、もし過積載だった場合、重機がいる場所に再度戻らなければならないため、二度手間になるため、大幅なロスになる。
- ・ ダンプ運搬回数が10%以上向上した。

### 定性的な効果

- ・ 従来はトラックスケールにて確認を行っており、機械の準備に時間や場所を、セットするのに時間を費やしていたが、デジタル表示により一目で確認できるため、現場の人手が削減され、運行の安全確保も可能となった。

## ④ 活用状況写真



# 「広島県建設分野の革新技术活用制度」登録技術の活用事例

技術名称：デジタル重量計「トラ・スケ」

登録事業者：アイウイングス株式会社

様式2

## ① 設計・施工等の概要

項目	概要
年度	令和4年度
発注機関	広島県
事業名	一級河川 太田川水系 府中大川 砂防設備災害復旧工事 (平成30年災害第3349号) 外
対象地	広島県広島市安芸区中野東2丁目
工期	令和3年4月5日～令和5年3月31日
数量	護岸工L=80.6m コンクリートブロック積工A=426.0m <sup>2</sup>

## ③ 活用効果（本事例における定量的・定性的な効果）

### 定量的な効果

—

### 定性的な効果

- バラ状の荷を積み込むことが多いため、機械オペレーターの経験や見た目で見断することなく、定量的に確認できる。
- 従来はトラックスケールにて確認を行っていたが、現場内に設置できない。
- デジタル表示により一目で確認できるため、運行の安全確保も可能となった。

## ② 活用に至った現場条件や経緯

- 現場は幅員が狭く3t車での作業になり、現場にトラックスケールを設置するスペースがない。
- 広島市道を頻繁に走行することから、過積載による道路の破損や家屋や塀への損傷が懸念されたため、デジタル重量計の採用に至った。

## ④ 活用状況写真

